

令和7年8月25日（月）

「第74回全国高等学校PTA連合会大会 2025 三重大会」へ参加しました。

令和7年8月21日（木）、22日（金）に、三重県津市産業・スポーツセンターを会場にして、第74回全国高等学校PTA連合会大会 2025 三重大会が開催されました。

全国の公立高校等からPTA役員が、約7,000名参加しました。那珂高からは、鈴木校長、大塚教諭（渉外部長）、PTA役員4名（菊池会長、富山副会長、藤井会計、峯村3学年委員長）が参加しました。

1日目は、午後からアトラクション（三重県立四日市商業高等学校ギター・マンドリン部）、全体会（開会行事・表彰式）、分科会【第1分科会：「子育て・親育て」、第2分科会：「学校・教育」、第3分科会：「進路・キャリア」、第4分科会：「PTA活動」】が行われました。

那珂高の多くの参加者は第1分科会、テーマ「子育て、そして親育て～言葉の力を磨き、子どもの心の声を聴こう～」に参加しました。

第1分科会では、基調講演が2つ行われました。

基調講演1では、「子どもの人権」を演題として、三重県子どもNPOサポートセンター理事長の田部眞樹子氏の講話を聞きました。講話を通して、子どもの人権の保護のために、とぎれのない子育て支援が必要で、そのようなシステム作りの大切さを理解することができました。

また、基調講演IIでは、「想いを繋げるコミュニケーション」を演題として、日本トレーナーズスクエア株式会社の代表取締役社長の岩崎由純氏の講話を聞きました。講話を通して、岩崎氏が、アメリカ在学中に、ペップトークの迫力・想い・魅力を体感した経験や、ペップトークを通して日本人の自己肯定感をレベルアップしていきたいという熱い想いを理解することができました。

2日目は、午前からアトラクション（三重県立相可高等学校 食物調理科）、記念講演、閉会式が行われました。記念講演は、井村屋株式会社代表取締役会長の中島伸子氏を講師として、「尊厳は明日の力～壁を開ける手中の鍵～」をテーマに行われました。

中島氏は、大学生時代に北陸トンネル火災事故に巻き込まれ、急死に一生を得たものの一時は声がほとんど出なくなり、夢であった教師の道を断念したこと、その後、父の言葉を機に立ち直り、アルバイトとして井村屋で働き始めたこと、アルバイトから女性初の経営者となったことなど、会社での人との出会いや、組織変換に取り組んだことなど、ご自身の経験をもとに貴重な話を聞くことができました。

閉会式では、一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長、次期開催地の大分大会実行委員長などからのあいさつがありました。



